



「今を一生懸命に生きる」

校長 長谷川 利恵



少し前に新学期が始まったと思っていましたら、気付くともう7月です。今年度の四分の一が終わってしまいました。時が経つのは、なんと早いのでしょうか。

「時」のことでなるほどと考えさせられたことがあります。

聖路加国際病院の日野原重明理事長（平成29年7月に105歳で亡くなられたのですが、亡くなる直前まで現役のお医者さんで、仕事の合間に本を書いたり、外国へ行かれたり、全国を回って子どもたちに「いのちの授業」をされたりしていました。）が生前、子どもたちを前にして次のように話しておられました。

「いのちとは、その人に与えられた時間のことである。だからこそ、その時その時を大事に過ごさなければならない。友だちと仲よく勉強したり遊んだりすることも、いのちを大事にしていることにつながる。そして、大人になったら、その大切な時間を他の人のためにも使える人になってほしい」と。

コロナ禍で遊びや学習活動が制限される中、子どもたちは、日々どんな過ごし方をしたら感染抑止になるか、限られた授業時間をどのようにしたら学習が楽しく深まるか、担任と一緒に考えながら進めてきました。今年入学した1年生を含めて、子どもたちは、今できることを精一杯やっています。「あれもできない。これもなくなった。」と嘆く前に、今できることの中に喜びを見出し、みんなで協力して仲よく学校生活を送り、学び合い高め合っています。正に、大切ないのちの時間を懸命に生きているのです。

「這えば立て、立てば歩めの親心」と言われるように、子どもが何かできるようになると、親はついついその先が気になり、欲も出てきます。しかし、その時その時に自分のいのちを燃やして生きているのは子ども本人です。親の願いや期待は子育てのエネルギーになりますが、子どもに過重の負担にならないようにしたいものです。子どもの成長は、順調なときばかりではありません。そっと見守る我慢も必要です。そして、ここはという時にしっかり支えてやる心構えと実践が求められます。自分の時間を生きるのは本人でしかなく、それを最後まで支えてやれるのは親なのですから。

左近山小学校の子どもたちは、今このときを一生懸命生きています。学習に、行事に、遊びに、友だちとの関わりに……。

日野原先生の言葉が実感としてよみがえってきます。

「いのちを大切にすること、今を一生懸命に生きることだよ。」



※今後の新型コロナウイルスの感染状況によっては予定及び下校時刻の変更が想定されます。その場合には改めてお知らせします。

【登下校時間の分散化について】（再掲載）

緊急事態宣言発令を機に、横浜市教育委員会より、児童の登下校が密にならないように登下校を分散化するように連絡がありました。本校では、「校門付近と昇降口での密集防止」のため、次のような対策をしています。

① 8時前には、登校しないように家を出発するようご協力ください。

※校門開門8:00 昇降口開門8:05

② 登校(校門通過)時間の「めやす」 1,3,5年生=8:00～8:10着 2,4,6年生=8:05～8:15着

※きょうだい等と一緒に登校している場合は、どちらに合わせても構いません。

登下校の安全と密を避けるよう、ご家庭でもご指導よろしくをお願いします。

児童の健康観察と新型コロナウイルス感染が判明した場合の対応（再掲載）

家族や同居の方等が、新型コロナウイルス感染症の疑いがあり、濃厚接触者に特定されたり、PCR 検査等を受けたりする必要が生じた時点で、**速やかに学校にご連絡ください。**

検査結果が判明するまでの間、お子さんの登校を控えて、家庭で健康観察をしていただくようご協力をお願いします。なお、この場合、当該児童生徒は「欠席」とせず「出席停止・忌引き等」になります。

※濃厚接触者とは
濃厚接触者は、新型コロナウイルスに感染していることが確認された方と近距離で接触、或いは長時間接触し、感染の可能性が相対的に高くなっている方を指します。濃厚接触者と判断された場合は区福祉保健センターの指示に従います。

健康観察票の提出（再掲載）

① 「健康観察票」については2か月単位で作成しています。現在使用している用紙は**7月20日**に回収します。また、8・9月分の「健康観察票」を、夏休み前に配付します。次回は**9月30日**に回収します。

② 2か月後に責任をもってシュレッダー処理します。





6月のさこんやま



令和3年度 校内重点研究会

授業改善と授業の質の向上を目指し、左近山小学校では毎年研究する教科等を決めて、校内授業研究を行っています。本年度は昨年度に引き続き、算数科を研究しています。研究テーマは、「自ら問いを見だし、解決する子ども ～必要感のある課題を設定し、自立的・協働的に解決するための指導の工夫～」です。

課題に対して、数学的な表現を使って自分で考える姿や、数学的な表現を使って友達と考えを交流する姿を通して、基礎的な学力の定着を図れるよう、研究を進めています。

6月11日（金）に第1回校内授業研究会が行われました。今回は、3年生「大きな数の筆算」と6年生「分数のかけ算」の授業を基に話し合いました。年4回、校内で授業研究会を実施します。

一人一人が自分の考えをもち、友達と交流する中で、「分かった」「楽しい」を実感できる授業を目指していきます。

一人一台 iPad

6月上旬に設定作業が全て終わり、左近山小学校でも一人一台の iPad が使えるようになりました。

最初の時間では、使うときのルールやマナーについて話し合いました。そして、学校から貸し出されている物であり大切に扱うことや、情報の扱い方について確認しました。

保管庫の中に並べられている iPad を見て、気持ちを高ぶらせていた子どもたち。これから行われる活動に期待を膨らませた表情で受けとっていききました。いろいろなことをやってみようという意欲がとても高く、初めて使うアプリや慣れない操作に戸惑いつつもとはあっても、夢中になっている様子が見られました。

今後は、iPad も学習用具の一つとして、よりよい学びのために適宜活用していく予定です。



6月15日（火） 第1回左近山小教育懇話会 →書面開催

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、今年度も第1回教育懇話会を予定通り開催することができませんでした。第1回は書面にして、今年度の学校運営及び学校評価計画の具体案をお伝えしました。



【留守番電話設定】 平日 17時45分から翌朝7時45分までは留守番電話を設定しています。

◆ 個人面談 ◆

〈日時〉 7月9日（金）、12日（月）、13日（火）、16日（金）、19日（月）
14時50分～16時45分



6月28日（月）にクラス毎に個人面談の日程を配付しました。7月9日（金）より実施する予定ですが、新型コロナウイルス感染拡大状況を踏まえ、変更する場合があります。また7月13日（火）～16日（金）の4日間は左近山中学校の個人面談日と重なっていますのでご承知おきください。入校の際には、手指消毒をお願いします。なお、当日のご案内及び入校証は7月5日（月）に配付します。

【感染拡大防止対策】

- 持ち物は、次の4点です。
入校証（氏名・当日の体温を必ず記入）
ネームホルダー スリッパ等の上履 マスク着用 靴をいれる袋
- 校内では、マスク着用の上、私語を慎んでください。
- 個人面談終了後は、すみやかに帰ってください。



◇ 「夏休みを迎える前に」～約束を守って、安全に楽しく遊ぶ～ ◇

夏休みを前に学年や学級での生活も安定し、友達関係や生活空間が広がってきていることもあり、放課後、お子さんによっては夕方遅くまで遊んでいることもあるようです。学校では「下校」「帰宅時間」などについて重ねて指導していますが、夏休み前に「夏休みの過ごし方について」〔7/20 発出〕を活用していただきながら、家庭でもお子さんと安全に楽しく遊ぶための約束を確認してください。夏休みは普段の生活に解放感が加わり、児童の安全面について危険性が高まる時期です。子どもの安全を家庭、学校、地域で守っていきましょう。



《下校》

・通学路を守って帰宅する。

・遊びに行くときには「だれと」「どこへ」

「何をしに行くか」「何時に帰るか」を家の人に伝える。

《帰宅時間》

・家の人と約束した時間に帰宅する。

・18時には家にいるようにする。

通学路を守らない児童がいます。

帰宅しないで、そのまま遊んでしまう児童が見られます。

児童が下校後、お子さんの所在が分からず、保護者から学校へ連絡が入り、職員で探すケースがあります。

遅くなくてもお子さんが帰宅せず、保護者が心配して、児童を探したり警察へ捜索願を出したりするケースがあります。

◇ 着任職員紹介

松本明美教諭が着任しました。特別支援を担当します。

7月の生活目標

④ 学習のきまりを守ります。



本校では「めざそう 左近山の子」の8つの行動目標に基づいて生活指導を行います。一月毎に一つずつ順に指導していきます。

スクールカウンセラー7・8月来校日

7/13（火） 8/31（火） 全日

渡辺景子カウンセラーのご都合により臨時で青島芳子カウンセラーが担当します。相談を希望される方は、養護教諭の矢崎または各担任までご連絡ください。



◎学校行事の変更確認

●区児童音楽会（4年）

11月5日（金）

→ 中止